

Emergency kitの中に入っているものを説明しよう

生徒は災害・防災について書かれた文を聞いたり読んだりする中で得た知識をもとに、海外から伊那市に來た外国人が災害に備えるためにはどのような知識や情報が必要となるかを考えます。単元のまとめでは、プレゼンアプリ（Keynote）を使いながら必要な情報を伝えることができるようになります。

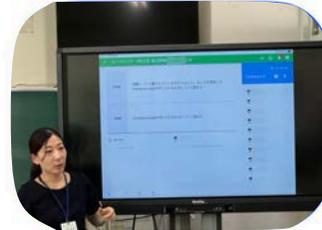
教師は生徒の言語活動に対する抵抗感を少なくするための活動を段階的に行います。いかに必要感を持つて学習に取り組み、英語で自分の考えを表現する活動に取り組むようになるかを課題としています。



①Today's Goalは「emergency kitを用意する際に参考となる情報を英語で話そう。」であることを確認し、どんな場面で使うことができるか考えます。



②春日先生とALTのプレット先生がemergency kitに入れるペットボトルの水を取り上げて例を示しました。



③今日の授業の目当てについて「ループバック」を示しています。生徒はこれを目指して意欲的に授業に取り組みました。



④メモをもとに、個人で「説明する文」を英語で考えます。まずは自分なりの英語で話そうにします。



⑤個人やグループの取り組みの場面で春日先生が録音した教材をschoolTaktで配布しました。この手立てによって生徒は活動に取り組みやすくなりました。



⑥グループで考えた文を録音します。伝えたいことをどのように英語で言えば良いかがわかってきました。必要のある情報を絞ることも考えました。

東部中学校 英語 春日美波 先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました

伊那市学力向上検討委員会の先生方と

ICTを活用した「授業改善」について考える

東部中学校の英語科を中心とする先生方と一緒に授業を参観させていただきました。参観された先生方のご意見、ご感想の一部を紹介します。

ICTを活用することが有効であると感ぜられた場面

- ・ICTを活用することによって準備された教材が事前に、授業の導入時に共有されていました。また、子どもたちはそれぞれの速度で追究ができ共有できていました。自分の録音を何度も確認することによってアップデートできていました。色々な場面でICTが有効に機能していると感じました。
- ・今までのような「発表をみんなで聞く」というスタイルには無い、効率性があり、子どもの追究や多様性に対応できる可能性を感じました。
- ・schoolTaktをはじめとするアプリの習熟度が高いこと、共有を効果的に使っていること課題の共有やループバックの提示などが時間の短縮につながり追究の時間の確保ができていたと感じました。
- ・教師が過過ぎないこと、特に全体共有の時間をかけすぎないことがとても大切なことだと感じました。

・iPadの活用の積み重ねがしっかりできてきていることによって個人で追究する時間やグループで追究する時間が多く取ることができていてよかったです。

ICTを活用についての更なるアイデア

- ・このような活動を繰り返していくことによって、相互に評価することが可能になると感じました。
- ・さらに思ったこと、評価はチャットやコメントを上手く活用できるとさらに良いと思いました。

今後のICT活用教育に関する参観授業の持ち方について

- ・自分自身も端末を持って授業を参観したいと感じました。子どもたちがschoolTaktに入力した情報を共有していただくことで参観したことを交えて、個の学びを改めて見返すことができると感じました。
- ・授業公開やその後の研究会など、大変良い機会をいただいたと思います。学力向上検討委員会の先生方他にも是非参観していただきたい貴重な機会だと感じました。それぞれの教科の先生方に参観していただくにはどうしていったら良いかなど、さらに授業公開のあり方について工夫をしていただけるとありがたいです。

すべての教科でループバックを共有し振り返りを充実させましょう

schoolTaktのループバックはポートフォリオにも



春日先生は授業の冒頭にループバックを示しました。生徒にとっては1時間の授業の見通しがもて、意欲的に取り組むことができました。授業後は自己評価と振り返りが書かれます。

ループバックについても意見が出されました

ループバックというのは「今日ここまでできればOKだよという目安」です。授業の冒頭でこれを出してもらったので、生徒はこれを目指していました。ループバックがあることによって頑張って追究できたのです。

どこまで達成できればいいかを生徒がわかっているということは、とっても大切なことです。特に中学校では、どの教科でも取り組んでいただきたいと思います。

今回の公開授業では、あらかじめTeamsで授業案を共有し他校の先生からも意見をいただく取り組みがありました。他の学校の先生方と広く交流し研究していくことは大切だと感じます。